

豊かな森林を守るために

良質な水の供給、土砂崩れや地球温暖化の防止、生態系の保全や行楽の場の提供など、森林は私たちの暮らしに多くの恵みをもたらしてくれています。この森林を良好な状態に保つための整備と保全に向けた取り組みを紹介いたします。



経営支援で森林整備を促進

健全な森林を長期的な視点で、計画的に維持・育成していくため、昨年度から「森林経営計画制度」がスタートしています。

森林所有者などが作成する森林経営計画には、森林経営に関する長期の方針や森林の伐採・造林計画などが盛り込まれます。市はこの計画作成に助言するとともに、提出された計画を「花巻市森林整備計画」の内容に照らして、認定しています。

本市の山林において、この計画が認定されたのはこれまでで4件（市域をまたぐ山林は県が認定）。認定を受けた計画は、各種の支援制度が受けられ、安定した森林経営に生かされています。



森林の保全

松くい虫の被害防止にご協力を

全国的に深刻化している松くい虫の被害。本市でもアカマツへの被害が年々広がっています。

市は、松くい虫被害にあったアカマツの伐採や予防液剤の樹幹注入などの対策を行っています。また、皆さんが予防液剤を購入し樹幹注入した場合、薬剤費の2分の1を補助しています。しかし、一度駆除しても、異なる時期や場所



森林の整備

みんなで支える森林づくり

森林には、良質な水を育んだり、土砂災害を防止したりするなどの機能がありますが、十分な手入れがされず荒れてしまうと、この機能が失われ、私たちの生活にも大きな影響を及ぼします。

このような状況を防ぎ、岩手の森林を良好な状態で次の世代に引き継ぐため、「いわての森林づくり県民税」が平成18年度から始まっています。

この県民税による税収は、約60万人の県民と約2万5千社の法人から、合わせて約7億5千万円。これにより、森林を守り育てるための取り組みが進められています。

間伐で森林を育てる

豊かな森林を育てるための取り組みの一つに「間伐」があります。

再び被害が発生するため、松くい虫被害の根絶は難しい状況です。風害や山地災害を防止する資源として、また建築用木材としても貴重なアカマツを守るため、被害木の早期発見・駆除に皆さんのご協力をお願いします。

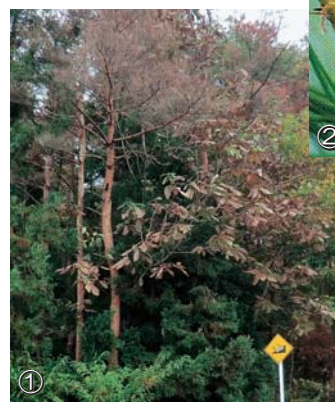
※枝葉が全て落ち、完全に枯れてしまったアカマツは、倒れる恐れがあるので、所有者の皆さんで伐採をお願いします

■こんなアカマツは、要注意

葉が黄色や褐色になっていたり、葉が緑色なのに、松やにの量が少なかったりする場合は、松くい虫被害の可能性ががあります。 ※松くい虫の被害を受けているか



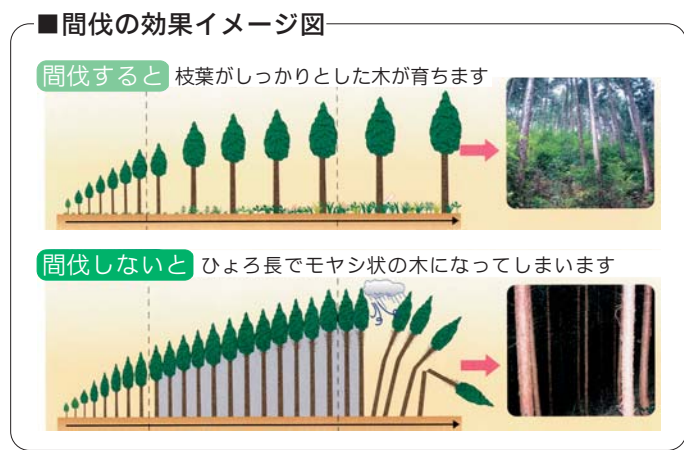
①松くい虫被害で赤く変色したアカマツ ②マツノマダラカミキリ成虫



①

木々が生長してくると林の中が混み合い、隣同士で枝葉が重なり合うこととなります。このような状態になると、今以上に枝葉を広げることが難しく、お互いの成長を阻害してしまいます。そこで一部の木々を伐ることにより、そこに枝葉を広げるスペースをつくります。このように、混み合ってきた林の一部を取り除く作業を間伐といえます。

多くの林業者がこの間伐を行い、私たちの生活に恩恵を与えてくれる森林を守り、育てています。



どうか検査することができません。詳しくは、左記担当へお問い合わせください

■6月から9月はアカマツを伐採しないでください

松くい虫被害は、マツノザイセンチュウによって松が枯れる伝染病です。マツノザイセンチュウはマツノマダラカミキリという昆虫によって媒介され、木から木へと運ばれます。6月から9月は、このカミキリが成虫になる時期で、伐採されたアカマツに産卵され、被害を拡大させる恐れがあります。

■被害木の移動はやめましょう

被害木を、未被害地に運ぶことにより、被害を急激に拡大させる恐れがあります。伐採した木材は絶対に移動しないでください。また、健全なアカマツでも、未被害地に運搬するのはやめましょう。

【問い合わせ】
○畜産林務課
(☎24・2111 内線6277)
○各総合支所産業係
(大迫 ☎48・2111 内線168、石鳥谷 ☎45・2111 内線240、東和 ☎42・2111 内線326)